取扱説明書　保管用

屋外用ＬＥＤブラケット

（壁付専用、防雨型）

ご使用になられる前に必ずお読み下さい

この取扱説明書には取り付け方や光源ユニットの交換方法、お手入れのしかたなどご使用にあたり重要な事柄が書かれてあります。
この取扱説明書を大切に保管して、お手入れなどの際にご利用ください。

お客様へ　：この器具の取り付け工事は必ず電気工事店（有資格者）にご依頼ください。
一般の方の工事は法律で禁じられています。

工事店様へ：工事が終わりましたら、この取扱説明書を必ずお客様にお渡ししてください。

■仕様

品　名	光源ユニット	適合電圧
AD−2431−L	WW-2002L（ワイド配光・電球色）	AC100V（± 6%）

※１回路の最大接続台数は20台までです。20台を超える場合は別途ご相談下さい。

この取扱説明書のマークについて。

⚠ 警告　説明書中の　警告　は重大な人身事故の原因となる危険を示します。
⚠ 注意　説明書中の　注意　は物損及び障害事故の原因となる危険を示します。
❗ このマークについている説明文は、必ず守ってください。
⃠ このマークについている説明文は、行ってはいけない禁止事項です。

● 取り付け　取扱い上の注意

⚠警告

❗ LED光源を長時間直視すると目を傷めることがあります。
★十分にご注意ください。

⃠ 一般屋外用器具(防雨型)です。
振動や衝撃の多い場所、腐食ガスの発生する場所、海岸隣接地帯(塩害地域)では使用しないでください。
★いずれの場合も器具の転倒や落下、破損によるケガや漏電、感電事故の原因となります。

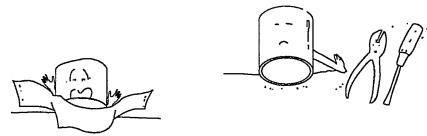
⃠ 次のような場所には取り付けないでください。

- 壁面以外の場所
- 補強材の無い場所への取付け。
- 石膏ボードなど弱い建材面への取り付け(ボックスに取り付ける場合を除く)
- 樹脂製ボックスカバーへの取り付け
(埋め込みボックスに取り付ける場合は、必ず金属性ボックスカバ-に取り付けてください。)
- 凸凹のある面には取り付けないでください。
★防水性が損なわれ、漏電や感電事故の原因となります。
- 浴室など湿度の高くなる場所への使用
- サウナへの使用
★器具の破損によるケガや 漏電、感電事故の原因となります。

⃠ 取り付け方向が指定されている器具は、取扱説明書および本体表示にしたがって、正しい方向に取り付けてください。
★指定以外の方向に取り付けると、火災や感電、器具落下によるケガの原因となります。

⃠ ドライバ-など異物を差し込まないでください。
★感電事故の原因となります。

⃠ 器具を布などで覆わないでください。
★過熱して、発煙や発火の原因となります。

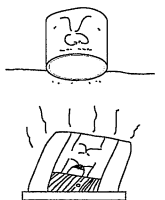
⃠ 器具の改造や構成部品の変更、改造はしないでください。
★火災や感電事故の原因となります。

⚠注意

❗ この器具は周囲温度5℃～35℃の中で使用してください。
★過熱して、発煙や発火、光源ユニット寿命短縮の原因となります。

❗ ＡＣ100Ｖ専用です。必ずＡＣ100Ｖの電源で使用してください。
★定格電圧より高い電圧で使用すると、過熱して、火災の原因となることがあります。
★定格電圧(100V) 以外で使用した場合、器具寿命が短くなることがあります。

⃠ 温度の高くなるもの（ガスレンジやエアコンの吹き出し口など）の近くに設置しないでください。
★熱によるカバ-の変形や火災の原因となります。

⃠ ヒビの入ったカバ-や、一部の欠けたカバ-は使用しないでください。
★カバ-の破損、落下の原因となります。

⃠ 殺虫剤やカビ取り剤などの薬品をかけないでください。
★変色や材料の変質によるカバ-のヒビ割れなどの原因となります。

使用上の注意

⚠ 注意

- 照明器具には寿命があります。設置後、通常のご使用で8～10年後には外見に異常が無くても内部劣化が進んでおります。点検・交換をお勧めします。※通常の使用条件とは周囲温度30℃、年間3000時間点灯です。（JIS C8105-1 解説による）
- 調光器（ライトコントロール）と組み合わせる場合は、指定の器具をご使用ください。（次項を参照して下さい。）
  ★不良点灯や、調光器、照明器具の故障また火災の原因となります。
- LED光源にはバラつきがある為、同一品名商品でも色・明るさが異なる場合がございます。予め御了承ください。
- 他の電気機器からの影響による電源電圧の変動によりちらつく事があります。予め御了承ください。
- 照射距離が近い場合や照射面によっては光ムラが気になる場合があります。予め御了承ください。

調光器適合表

調光器（ライトコントロール）と組み合わせる場合は、指定の器具をご使用下さい。
★不適合な調光器は故障また火災の原因となります。

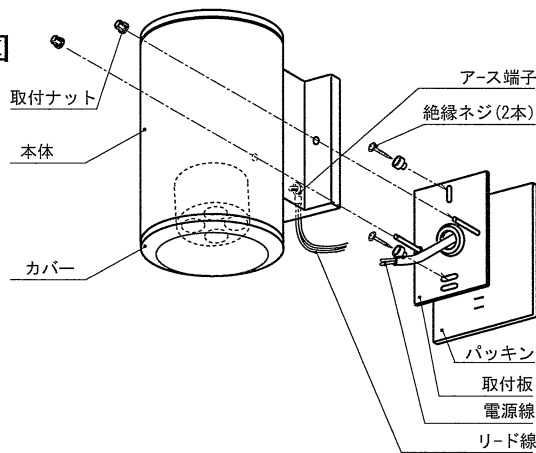
調光器	調光器品番	1回路当たりの接続数	インターフェース ※1
ホームワークス用マエストロ（LUTRON社）	HWD-4NE-JA-	1～ 8台（調光器1台に対して）	LUT-LBX-JA
		9～20台（調光器1台に対して）	不要
グラフィックアイ QS（LUTRON社）	QSG-*P-100-	1～ 5台（1ゾーンに対して）	PHPM-PA-JA-WH + LUT-LBX-JA
		6～20台（1ゾーンに対して）	PHPM-PA-JA-WH
グラフィックアイ 3000（LUTRON社）	GRX-310*-T-JA-	1～ 5台（1ゾーンに対して）	PHPM-PA-JA-WH + LUT-LBX-JA
		6～20台（1ゾーンに対して）	PHPM-PA-JA-WH
調光盤（LUTRON社）	JDP-* *・GP-4	1～ 8台（1回路に対して）	LUT-LBX-JA
		9～20台（1ゾーンに対して）	不要

※1 インターフェースが必要な場合は1回路に1台を必ず接続してください。
LUT-LBX-JA：低負荷容量インターフェース、PHPM-PA-JA-WH：マルチパワーモジュール
★調光器との接続方法につきましては別途ご相談下さい。
★電源を入れても点灯していない様に感じられる場合は、電源投入後、一度調光レベルを上げて動作の確認をして下さい。

各部の名称

（説明図は、一部を省略抽象化した図です。）
（不足している部品があった場合には、お買い上げ店または山田照明サービス受付窓口までご連絡ください。）

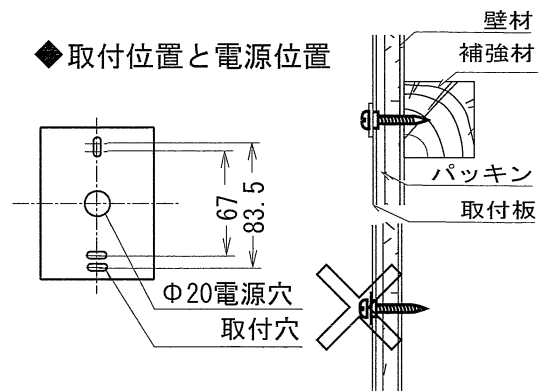
■ 器具構成図

取付ナット
本体
カバー
アース端子
絶縁ネジ（2本）
パッキン
取付板
電源線
リード線

■ 付属品

- 絶縁ネジ ―― 2本
- 自己融着テープ ―― 2枚
- 取扱説明書（本書） ―― 1枚
- 保証とアフターサービスについて ―― 1枚

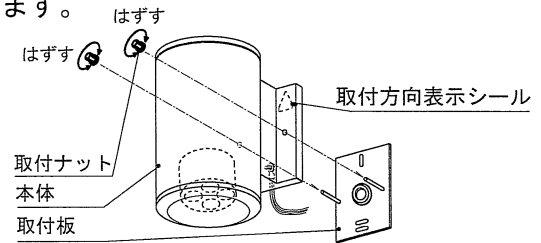
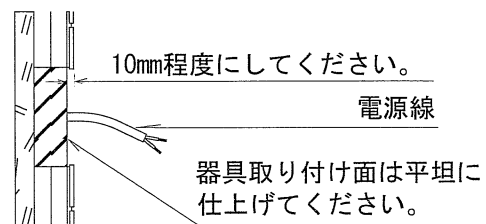
取り付け場所の確認

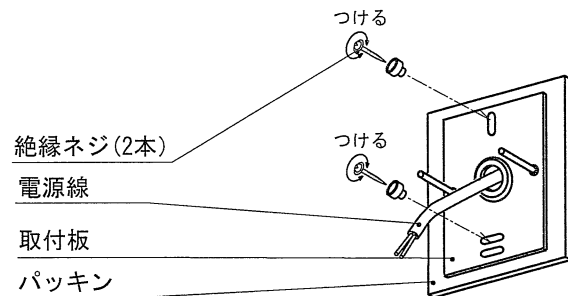
⚠ 警告 ❗ 付属の絶縁ネジで取り付ける場合、必ず補強材のある場所に取り付けてください。

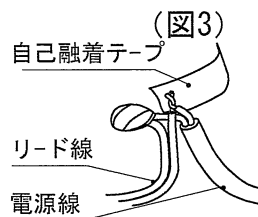
★ボックスに取り付ける場合は、別途ボックス止め用のネジをご用意ください。
★コンクリートなど付属の絶縁ネジを直接取り付けられない場合には、金属性木ネジプラグ（カールプラグ等）を別途施工してから取り付けてください。
（付属の絶縁ネジのサイズ：ネジ径Φ4.1、長さ38mm）

● 取り付け方 ⚠注意 ❗ 必ず電源を切ってください。感電事故の原因となります。

⚠ 警告 ❗ 器具の取り付けは、説明書に従い確実に行ってください。
★取り付けに不備があると、器具の落下によるケガや火災、感電事故の原因となります。

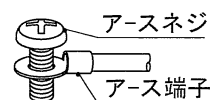
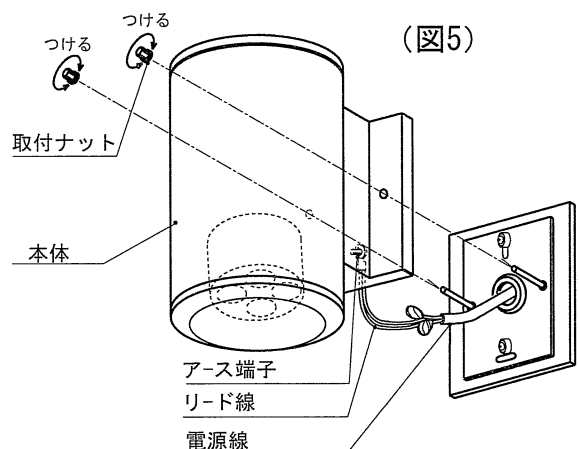
⚠ 注意 ⃠ 本体を開けないでください。
★防水性が損なわれ、漏電・感電の原因となります。

● 器具を取り付ける前に、
取付ナット(2個)をはずして、
取付板を取りはずしてください。

1、器具取り付け面を平らに 仕上げます。(図1)
取り付け面に凸凹がありますと、
取り付け部のパッキンの防水性
が損なわれますので十分ご注意
ください。
取付方向が指定されています。
本体の取付方向表示に合わせて
取り付けてください。

(図1)

2、取付板を取り付けます。(図2)
パッキンを介して、
取付板を付属の絶縁ネジ（2本）を
ねじ込み固定します。

(図2)

3、電源線を接続します。(図3)
電源線の被覆をむいてリード線と接続
してください。
裸線が見えない様に、自己融着テープ
でしっかりと巻付けた上、絶縁テープ
を巻いてください。
★不良の場合、感電、漏電の原因となります。

(図3)

(図4)

4、アース線を接続します。(図4)
本体に付いているアース端子に接続してください。
＊必ずD種接地工事を施してください。
D種接地工事は、電気設備技術基準に従って
確実に行ってください。
❗★接地（アース）が不完全な場合は、感電事故の原因となります。

5、本体を取付けます。(図5)
取付ナット（2個）をねじ込み
確実に固定します。

(図5)

● スイッチ操作

壁スイッチにて ON-OFF 操作を行います。

● お手入れについて ⚠注意 ❗必ず電源を切ってください。感電事故の原因となります。

● 1年に1回はお手入れを行い、異常が無いか点検をしてください。
また3年に1回は専門業者・有資格者による点検を依頼してください。
★点検を行なわずに長時間使用し続けますとまれに発煙・発火・感電に至る恐れがあります。

● こまめに清掃を： 照明器具が汚れていると、暗くなり、しかも電気代は変わらないので不経済です。
定期的に清掃しましょう。暮れの大掃除の際には照明器具も清掃しましょう。

⚠注意

❗● お手入れをするときには、必ずスイッチを切ってから行ってください。
★感電事故の原因となります。

⃠● シンナーやベンジンなど揮発性の薬品やクレンザーなどは使用しないでください。
★器具に傷をつけたり変色や変質の原因となります。

■光源ユニットの交換

⚠注意 ❗ 本製品は、構造上お客様にて光源ユニットを交換することができません。
メンテナンスの際は工事店または別紙の山田照明サービス受付窓口までご相談ください。

■お手入れのしかたについて

1. スイッチを切ります。
2. 柔らかい布に中性洗剤を浸し、よく絞ってから汚れを拭き取ります。
3. 汚れを落とした後、洗剤分を拭き取ります。
4. 最後に乾いた布で、水分を完全に拭き取ります。

■アフターサービスについて

ご使用中、器具が普段と違った状態となりましたらただちに使用を中止し
器具の型番（器具本体のラベルでご確認ください）故障の状況、ご使用期間をご確認の上、
お買い上げ頂きました販売店、もしくは別紙の山田照明サービス受付窓口にご相談ください。